

大学教員準備プログラムにおける 教育実践および事後検討会の実施状況と特徴

Trends and Characteristic of Teaching Practice and Post-workshop in Future Faculty Program

小林 雄志・中嶋 康二・平岡 齊士

Yuji KOBAYASHI, Koji NAKAJIMA, Naoshi HIRAOKA

熊本大学大学院 教授システム学専攻

Graduate School of Instructional Systems, Kumamoto University

〈あらまし〉本研究では、日本の大学における大学教員準備プログラムについて、教育実践の機会とその後の検討会（事後検討会）の実施状況・特徴に関する調査を行った。その結果、調査対象とした8つのプログラムのうち3つのプログラムにおいて実際の授業実施（授業実践）が行われていたが、その他のプログラムにおいては模擬授業のみ実施されており、実施時間も通常の1コマの授業より短縮した形（マイクロティーチング）で実施されている場合が多いことが明らかとなった。

〈キーワード〉 教授法, 授業スキル, 授業設計, 授業実践, 教師教育, プレFD

1. はじめに

日本の大学における大学教員準備プログラムの問題点として「教育実践の不足」が指摘されているが（吉田ほか 2015）、実際に教育実践がどのような形式でどの程度行われ、どのような方法で大学教員準備者の教育力改善に役立てられているかについて、取りまとめられた資料は見当たらない。そこで本研究では、模擬授業を含む教育実践の機会やその後の検討会（事後検討会）の実施状況・特徴についての調査を行うこととした。

2. 調査結果・考察

先行文献（東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター 2015, 栗田ほか 2015）において扱われている大学教員準備プログラムに関する公開資料・webサイトの調査を行った結果（表1）、8つのプログラムで教育実践が行われており、そのうちの3件では実際の授業実施（授業実践）が行われていた。また、それ以外のプログラムでは通常の90分間の授業を短縮した形での模擬授業（マイクロティーチング）として実施されている場合が多いことから、実際と同程度の授業時間での練習機会が不足している可能性が示唆された。事後検討会に関しては、受講者同士で議論を進める形式が主流となっていた。

謝辞

本研究は、「特別経費（プロジェクト分）大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実 採択プロジェクト（7714S012628, 代表：鈴木克明）の助成を受け実施した。

参考文献

- 吉田壘, 栗田佳代子, 井上俊哉(2015) FDおよびプレFDとしてのミニレクチャプログラムの開発と評価. 大学教育学会第37回大会発表要旨集録: 216-217
- 東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター (2015) 日本の大学における大学教員準備プログラムについて (提言).
- 栗田佳代子, 佐藤浩章, 夏目達也, 羽田貴史, 小笠原正明, 吉良直(2015) プレFDの現状から見える目指すべき方向性. 大学教育学会第37回大会発表要旨集録: 40-41
- 佐藤浩章(2015) 授業参観・模擬授業をどのように実施するか～大阪大学FFPの取り組み. 大学教育学会第37回大会ラウンドテーブル企画「プレFDの現状から見える目指すべき方向性」発表資料
- 2016年度大学教員準備プログラム PFFP | 東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター.
http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/pffp/program_2016.html, (参照 2015.7.9)
- 東京大学フューチャーファカルティプログラムシラバス(第5期版).
http://www.todaifd.com/wp/wp-content/themes/twentyelven/ffp/2015_syllabus_sum.pdf(参照 2015.7.9)
- TF 概要等の表 一橋大学 | キャリア支援室大学院生向け支援.
<https://sites.google.com/a/r.hit-u.ac.jp/careersupport/high-level/teachingfellow-guidance/2> (参照 2015.7.9)
- 大学教員準備講座 2015 名古屋大学高等教育研究センター.
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/service/grad/2015CoursesAnnouncement.pdf>(参照 2015.7.9)
- アドバンストコース | プログラムについて | 大学院生の

ための教育実践講座 | 京都大学のプレ FD.
<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/study/program/advanced.html>(参照 2015.7.9)
 プログラムについて | 文学研究科プレ FD プロジェクト | 京都大学のプレ FD.
<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/prefd/literature/program/index.html>(参照 2015.7.9)

未来の大学教員養成プログラム 大阪大学教育学習支援センター. <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ffp>(参照日 2015.7.9)
 教職課程担当教員養成プログラム 広島大学教育学部教育学講座 第5類教育学系コース 大学院教育学専修 / プログラムの詳細.
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kyo2/Ed.Dprogram/program/>(参照 2015.7.9)

表 1. 大学教員準備プログラムにおける授業実践および事後検討会の実施状況

| プログラム名 | 実施形態(時間) | フィードバック・事後検討会の内容 | 備考 |
|-----------------------------------|---|--|---|
| 東北大学 大学教員準備プログラム | マイクロティーチング (10分程度) 模擬授業(20分程度) | 参加者同士のディスカッション. セルフリフレクションの実践. 実践の場には先達教員も参加し、多様なコメントや評価をフィードバックする。 | マイクロティーチングの振り返りの結果を反映し、ブラッシュアップした授業計画で模擬授業を実施。 |
| 東京大学 フューチャー ファカルティ プログラム | マイクロティーチング (6分×2回) | メンバー同士で議論を重ねつつ、授業デザインや教授方法について学びを深めながら、模擬授業の改善をはかる。相互評価を行う。 | プログラム外で、プログラム修了生に対するミニレクチャプログラム(30~45分の授業実践)を実施。 |
| 一橋大学 ティーチング フェロー・トレーニング・コース | 授業実践 (2コマ[3時間]以上) | 実習後は実習日誌をまとめ、授業担当教員の所見と照らして振り返る。参加者同士で実習を観察しあい、ピアレビューをすることも推奨。事後講習で授業観察・授業実習で蓄積してきた実践を振り返り、改善課題を析出。それとともに、単発の授業を組み立てる以外に求められる、連続した授業体系の設計(シラバスの作成)や成績評価・授業評価のあり方、授業の「場」そのものの作り方などについて学ぶ。 | (原則として)一橋大学社会学部の学部生を対象に授業を行う。 |
| 名古屋大学 大学教員準備講座 | マイクロティーチング (時間数不明) | 不明 | 大学院共通科目「大学教員論」全15コマのうちの1コマ内で実施。 |
| 京都大学 大学院生のための教育実践講座 | 模擬授業(時間数不明) | 模擬公開授業の後には受講者全体の検討会を実施し、授業をする側と受ける側の認識の違いを確認しながらより優れた授業のあり方を議論する。 | 模擬授業はアドバンストコースにて実施。(アドバンストコースは、ベーシックコース修了者、非常勤講師経験者が対象。) |
| 京都大学 文学研究科 プレ FD プロジェクト | 授業実践 (2~5コマ) | 受講学生に授業後にリフレクションシートを作成してもらい、毎回の授業終了後に30~60分程度の授業検討会が行われ、参観講師、コーディネーター、教務補佐が授業についての意見を述べたのち、リフレクションシートの紹介がされ、それに対して担当講師が応答をする。検討会後半にはディスカッションの時間が設けられ、授業スキルから授業内容に関わる専門的議論に至るまで、幅広いトピックについて意見交換が行われる。担当講師は事後研修会までに自分の授業DVDを視聴し、「授業振り返り用ワークシート」を作成。講師はリフレクションシートに書かれた学生の意見を授業にフィードバックすることで、インタラクティブに授業の改善を進めていく。 | 自分の授業が無い時には他の講師の授業を参観、検討会への参加という形でゼミに参加。 事後研修会では、プロジェクト講師が一同に会し、それぞれの講義を振り返り、経験を共有する。また講義受講やディスカッションを通じて、大学で講義を行う際の様々な課題を取り上げ、その解決方法を考察する。 |
| 大阪大学 未来の大学 教員養成プログラム | マイクロティーチング (10分) 模擬授業(時間数不明) 授業実践(1コマ) | 受講者・見学者(他の院生)からのフィードバックやリフレクションを踏まえた自己分析。 | 基本的に自分で実習先を確保する。見学者がいない場合はスタッフが見学し、フィードバック。 |
| 広島大学 Ed.D型大学院プログラム | 授業実践 (教壇実習:学内2コマ・学外1コマ) | 事後検討会の参加者は、メンター教員や受け入れ先教員、授業観察者。 | 学内実習ではTAとして15コマ参加するうちの1コマ分の授業を担当。 |